

第13回湯河原町地域公共交通会議 会議録

令和2年1月23日（木）

10時30分～11時30分

湯河原町役場第2庁舎3階会議室

【会議次第】

1 開会

2 議題

- (1) 予約型乗合い交通「ゆたぼん号」実証運行の実績報告について
- (2) 予約型乗合い交通「ゆたぼん号」本格運行の運行実績について
- (3) 湯河原町コミュニティバスの路線変更等について

3 その他

4 閉会

【協議事項の議事概要】

1 開会

事務局より開会のあいさつ、欠席委員の報告。

2 議題

(河崎会長)

本日は委員22名のうち代理出席も含め、過半数以上が出席をされていることから、会議設置要綱第5条第2項の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。

また、会議設置要綱第5条第5項において、会議については原則公開としております。本日の会議につきましては、7名の方が傍聴されていることを報告いたします。

それでは議題に入ります。議題1「予約型乗合い交通「ゆたぼん号」実証運行の実績報告」及び議題2「予約型乗合い交通「ゆたぼん号」本格運行の運行実績」は、ゆたぼん号の報告で、関連しますので続けて事務局より説明をお願いします。

—事務局より資料1・2の説明—

(河崎会長)

ありがとうございました。議題1「予約型乗合い交通「ゆたぼん号」本格運行の運行実績」及び議題2「予約型乗合い交通「ゆたぼん号」本格運行の運行実績」について説明がありました。

こちらは報告事項ですので、ご質問などがあればお伺いします。

(鐘築委員)

資料1の1ページ目、「本格運行に向けた対応」としてオレンジラインエリア2箇所の移設と、福浦エリア2箇所の新設ということですが、オレンジラインエリアの実績が上がっているのは分かるが、福浦エリアは効果が上がっていません。乗降ポイントの移設、新設に伴う費用が発生しているかどうかについてと、福浦エリアの乗降ポイントの新設理由についても併せてお聞きします。

(事務局)

1点目の費用についてのご説明ですが、オレンジラインエリアの乗降ポイント⑦番と⑫番の移設については、設置に伴う細かな備品等の費用は掛かっておりますが、新たに看板を作成したりはしておりません。福浦エリアにおきましては、実証運行時では無かった④番の福浦会館、⑤番の真鶴タクシーから道路を上った箇所の2箇所を新設しておりますので、看板作製の費用が掛か

っております。費用対効果につきましては、オレンジラインエリアについては、効果が見られますが、福浦エリアの現在のポイント別の状況といたしまして、乗降ポイント④については、利用されている方がおり、実績がございます。⑤については、現在のところ実績がない状態です。乗降ポイントの移設・新設は、各地域の方との意見交換を踏まえて設置したものであり、今後、利用したいとのご意見も頂いておりますので、福浦エリアについても、今後実績が出てくるものだと考えております。また、新たに設置したということもあり、周知をしっかりと行っていこうと考えております。

(鐘築委員)

福浦エリア⑤番のポイントは狭い道路でアップダウンが激しいということで、設置をしているということは分かりました。そういうことであれば、実証運行が決まる前に福浦区と競っていた城堀区についても同様に斜面が急であるため、城堀区からの要望は多く出ていたと思いますが、現在も要望が出ているのか。また、どのような対応をとるのかについても教えてください。

(事務局)

城堀エリアの要望ですが、当初、ゆたぼん号の運行エリアについて検討をした時に福浦エリア、城堀エリアは近い検討状況であった中で、福浦エリアを採用したところではございます。城堀エリアのゆたぼん号の運行につきましては、ゆたぼん号と同じ形態での運行が可能か、研究が必要であると考えております。城堀エリアには多数の坂道があり、急勾配のポイントには車両の乗降が危険であるなど、国及び警察との協議の中で、制度的な制限もございます。1年間の実証運行において、制度として定着もしてきている中で、留意しなければならないことも把握してまいりました。乗降ポイントが設置出来る箇所が限られる中で、そのポイントが城堀エリアとしてニーズがあるのかなど、より研究が必要であると考えております。

(渡邊委員)

城堀エリアの下の方に住む方は、駅に近いが、上にいる方からは、道路が狭く、坂が急で歩くのが大変ということもあり、要望が多くあるので対応の方をお願いします。

(事務局)

ゆたぼん号の運行が定着してきましたので、それを踏まえて同じような制度が適応できるか、研究していきます。

(会長)

福浦エリアではまだ、利用が無いようですが、本格運行が始まって3か月ですので、周知の方を徹底していただき、様子を見ながら問題点等を考えていくというような形で進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

—意見なし—

次の議題3「湯河原町コミュニティバスの路線変更等」について事務局から説明をお願いします。

—事務局より資料の説明—

(河崎会長)

ただ今、事務局から説明がありましたが、こちらも報告事項ですので、ご質問などあればお願いします。

—意見なし—

(河崎会長)

ありがとうございます。それでは広報などしっかり周知していただきたいと思います。

(鐘築委員)

戻って、ゆたぼん号の話になりますが、運行収入・運賃収入の中の差額負担分ですが、差額負担分から利用人数で割ると1便当たりの負担分が出てくるかと思いますが、4エリアの差額負担分に大きく差があります。福浦、鍛冶屋は安く温泉場が一番高いかと思いますが。料金設定や、利用便数により変わってくると思いますが、4エリアごとの差額負担分が平らになり、利用便数を増やしてもらえような工夫をお願いします。参考までにオレンジラインエリアについてですが、乗車人数の多さから1人当たりの負担分が少なくなっていることが分かります。料金設定の見直しをお願いしたいと思います。

(事務局)

温泉場エリア、オレンジエリアと、鍛冶屋エリア、福浦エリアでは走行距離が異なりますので、事業者との契約において2種類の単価の設定がございます。稼働率の少ない鍛冶屋、福浦エリアが安いというのは元の単価の差が出てきてしまっていることが考えられます。オレンジエリアに関しましては、便数が多く出ていますが、乗合いでの乗車も多いため、一台あたりの経費が薄まっております。料金設定の見直しも今後、検討する必要もあると考えておりますが、即効力があるものでは乗合いを推奨していくことだと思います。町の努力といたしましても、ご近所の方との乗合いをしていただくよう声掛け等を行っております。町の負担経費が少なくなるという点もございますが、乗合いをすることによる地域コミュニティの改善にもつながると考えております。

(鐘築委員)

ゆたぼん号の実績報告の6番目に本格運行以降に伴う取組状況とあるが、7番目の項目として、目標値を達成するための課題という項目を追加してほしい。

(事務局)

次の会議の際に、研究した内容を書かせていただきたいと思います。

(岡村委員)

経費に対する収入の割合は収支率ですが、その観点ではオレンジラインエリアは悪くないなど色々な観点があります。様々な要素を検討し、利用者負担額をもう少しいただく検討や乗合いの推進など、事務局の方に数値を出してもらえるとよいと思います。

(河崎会長)

他にご質問等がなければよろしいでしょうか。

—意見なし—

(河崎会長)

最後に、「その他」でございますが、事務局から説明をお願いします。

—事務局 説明（ゆたぼん号掲示シール、平成29年度補正UDタクシー評価、委員の改選）—

(河崎会長)

ただ今、事務局から説明がありましたが、ご質問などあればお願いします。

(渡邊委員)

温泉場、オレンジラインエリアと鍛冶屋、福浦エリアで利用に開きがあるとのことですが、別荘の方が多く利用しているという可能性があるのだと思います。なので、別荘の方を抜いた数であれば、もう少し差が縮まるのではないのでしょうか？

(事務局)

温泉場、オレンジラインエリアには一定数の別荘があるという状況は理解しております。本制度事業所からの日報等を事務局で集計しておりますが、別荘の方の利用数よりも、湯河原に住まわれている方の利用数の方が多いと考えております。別荘の方も利用できる制度ですので、今後様々な方に利用して頂けるよう推進してまいります。

(鐘築委員)

先ほどの件についてですが、曜日別で利用者数を出しているとは思いますが、曜日別に見ても別荘の方と住民の方の違いがあるようには思えませんが、しいて言うならば、金曜日のお昼頃の利用者が多く、住民の方が利用しているのかと思います。別荘や、住民の利用状況についても検証する必要があると思いますので、引き続きお願いいたします。

(河崎会長)

他の委員の方から、何かありますでしょうか。無いようでしたら、事務局からお願いします。

(事務局)

本日は活発なご意見ありがとうございました。

今後としましては、本格運行後の「ゆたぼん号」運行実績を踏まえまして、稼働率及び乗車密度向上のための方策等について研究してまいります。

次回の交通会議については現在調整中ですが、来年度4月から5月頃に開催を予定しています。詳細については担当から改めてご連絡いたします。

本日は、ありがとうございました。

(以上)